

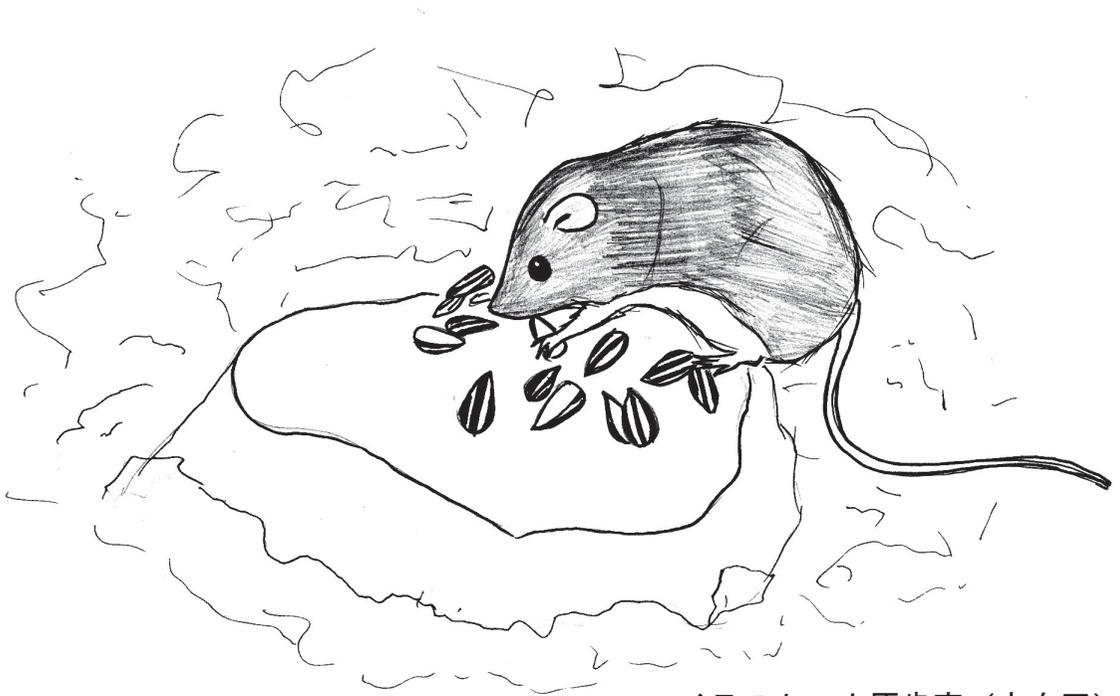
仙台市太白山自然観察の森情報誌

No.234

# 2木の森のおくりもの

2011年 2月号

アカネズミ



イラスト：小原歩実（太白区）

如月、語源は寒さで着物を更に重ねて着ることから、「着更着（きさらぎ）」とする説や、気候が陽気になる季節で「気更来（きさらぎ）」「息更来（きさらぎ）」、草木が生えはじめる月で「生更木（きさらぎ）」とする説があるようですが、私のような寒さに弱い方には着更着が、セリバオウレンやマンサクの花が待ちどろしい方には気更来・生更木が当てはまる月ではないでしょうか。例年だとオオイヌフグリ、ヒメオドリコソウ、ナズナたちも目を楽しませてくれるのですが今年はどうでしょうか。

（武智）

# ふゆの顔たち 「冬芽」

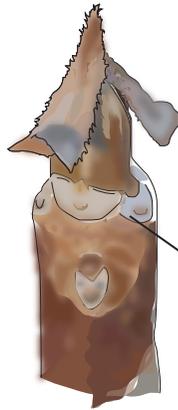
寒い冬を、いろんな格好で過ごし、春を待つ生き物たち。森を歩いていると、いろんな顔が目につきます。今回は小人のように見える冬芽を紹介します。葉を落とした木々の枝を覗き込んでみてください。みなさんは、どんな顔にありましたか？

頂芽は水あめみたい  
にネバネバした樹脂  
で覆われていて、そ  
れが、陽を受けて光  
って見える

側芽が丸い時は、  
ドラエもんの手  
のように見える



【トチノキ】



芽鱗の帽子が、は  
ずれているものも  
多い

とんがり帽子が  
良く似合う小人  
さんに見える

維管束痕が、笑い顔に  
見える

【リョウブ】

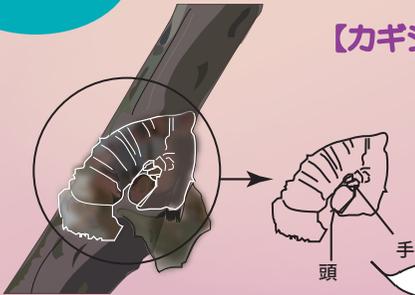
\* 今回のモデルとなった小人たちは、「小鳥の森」と「くわがたの森」で見られます。

こんなのも  
いるよ

冬芽と思ったら・・・ クリの冬芽に擬態している虫

【カギシロスジアオシャク】 というガの幼虫です。

頭を下に折り曲げて、天敵に見つからないように、じっと寒空の下で生きている そんな姿を見るとなんだか元気をもらえた気がします。この巧みな擬態の姿は「おみごと！」としか言えません。見つけた時は感動ものです



芝生広場のクリにいます

【文・イラスト:黒川】

? Ω ク イ ス ? ? ?

【もんだい】 トチノキの冬芽はどうしてネバネバしているの？  
(下の3つから選んでね！)

- Ⓐ 乾燥を防ぐため
- Ⓑ おしゃれのため
- Ⓒ 体温をあげるため

【答えは、5ページ 】

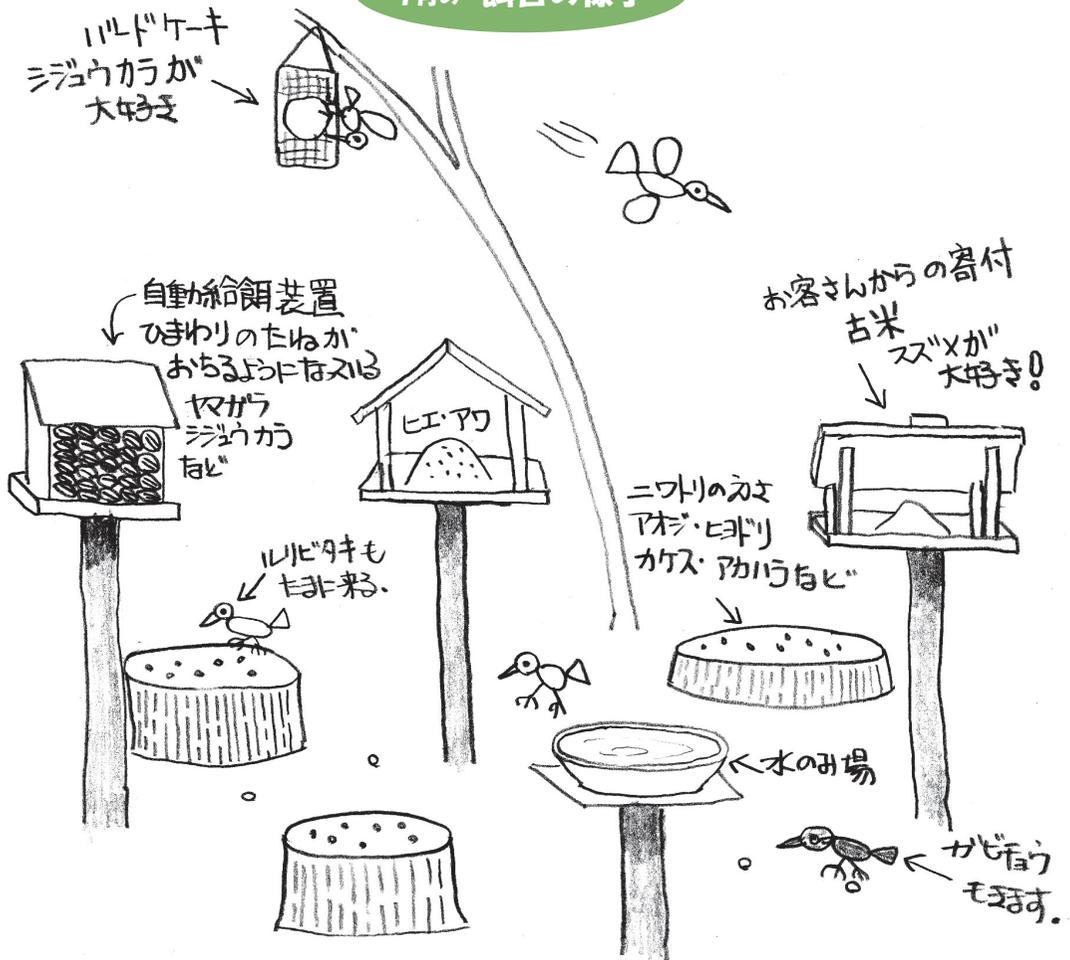
## 2月の生き物情報

1月になりバードテーブルもさらに活気づいてきました。バードケーキとお客さんから寄付された古米も追加し、餌の種類も増え小鳥たちは喜んでいるようです。先日、エサ台を見ていたお客さんからの情報で、バードテーブルに集まった小鳥たちを狙って猛禽類が来たそうです。一瞬だったので何の鳥か確認することは出来なかったようですが、オオタカよりは小さく、ハトぐらいの大きさだったようです。その瞬間「ピーッ!!」という警戒音とともに小鳥たちは一斉に逃げだしたそうです。あわてて飛び立ったのでセンターの窓ガラスに激突した鳥もいたとのこと。自然界では食事するときも命がけなんですね。そんな話を聞くと安心して食事が出来る人間に生れて本当によかったと思う今日この頃なのです。

1月のバードテーブルによく集まった仲間たち。

スズメ、シジュウカラ、ヤマガラ、アオジ、ヒヨドリ、キジバト、カケス、アカハラ、ガビチョウなどでした。 【文・イラスト：齋】

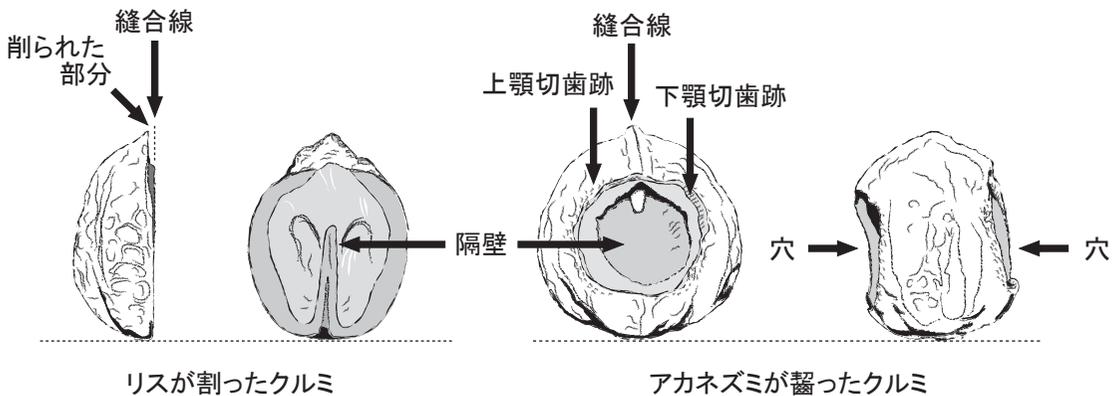
### 1月の 餌台の様子



# みんなで自然観察

イベント報告  
フィールドサイン

1月22日の観察会は、小雪がぱらぱら舞う中で始まりました。この日より前にも何度か雪が降り、積雪もありましたが部分的にしか残っておらず、せつかく残っていた足跡も新たな雪で形が崩れてきました。足跡探しを楽しみに来た人には、少し残念なコンディションです。雪上には、ホンドタヌキ、トウホクノウサギ、ニホンイノシシなどの足跡があったのですが、イノシシ以外の足跡は、あまりはっきりしていませんでした。私は前日の夜、足跡の主であるイノシシとタヌキに会っていたので（写真もバッチリ！）、その時の様子もお話してきました。この日見られたフィールドサインは足跡の他、オニグルミに付いたニホンリスとアカネズミの食痕、クリに付いたイノシシの食痕、ウサギとイノシシの糞、リスの巣（球状、皿状）、アズマモグラの塚、ニホンカモシカの角こすりの跡などでした。クルミの食痕ですが、リスはクルミを割って食べますが、アカネズミは穴を開けて食べるので区別できます。ヒメネズミは体が小さく力が弱いめか、クルミは堅いので、食べるのは難しいようです。また、経験の乏しい若いリスやネズミが食べたクルミは、削られた部分の割合が多くなっているのので、経験豊富な大人が食べたものと区別できません。観察会では、削られた割合や削られた場所の異なる様々なクルミをみんなで拾い集め、見比べることができました。アカネズミの食痕のついたクルミもありましたが、たくさんは拾えなかったのので、参加した方々にはセンターで生態展示中のアカネズミが齧ったクルミをプレゼントしました。紐を通してネックレスにしてみてもはいかがでしょうか？



隙間に切歯を突っ込み、テコの原理で割る。  
割り方を知らず、全周を齧るリスもいる。

縫合線上に2つの穴をあけるのが、  
効率の良い食べ方。

【文・イラスト: 林】

プレゼントのクルミを作ってくれたのが表紙のネズミです。

## 2月 館長の独り言



今年、2011年は、国際的には国連総会決議により「現在・未来の世代のため、全てのタイプの森林の持続可能な森林経営、保全、持続可能な開発を強化することについて、あらゆるレベルでの認識を高めるよう努力すべき」とされている「国際森林年」(International Year of Forests)です。

ロゴマークは「Forests for People (人々のための森林)」というテーマを伝えるもので世界の森林の持続可能な経営、保全等における人間の中心的役割をたたえるものです。人々の居住環境や食料・水等の供給、生物多様性保全、気候変動緩和といった森林の多面的機能が人類の生存に欠かせないものであることを訴えるデザインとなっています。林野庁のホームページを見ると国内ではいろいろな行事が計画されているようです。

また、本年は仙台市太白山自然観察の森（以後観察の森と記す）が平成3年6月6日に環境庁（現・環境省）の「身近な自然活用地域整備事業」として全国10ヵ所に設けられた施設のうち、東北・北海道では唯一の施設として、開設されてから20周年目を迎える年でもあります。

観察の森では特にレンジャーが常駐することにより直接利用者と接する利用指導型を取り入れ、皆さんの身近な自然教育の体験の場として利用されてきました。毎週日曜日のレンジャーによる四季折々のお山の様子を紹介する「ガイドウォーク」、専門家を講師とした「自然観察会」や「森の講話会」、皆さんが木や木の実で作成した作品や動植物の写真・絵を展示する「みんなで作る里山あーと展」等は利用者の皆様の好評を得てきました。このようなお付き合いの中から、レンジャーが収集できなかった貴重な情報を耳に入れてくれたりする常連さんが出来たことも、長年のお付き合いの賜物だと思っております。

これからもお山の動植物との触れ合いを通して皆様と20年目の新しい第一歩を踏み出したいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

### クイズのこたえ

### ① 乾燥を防ぐため



トチノキのネバネバした樹脂は「寒さや乾燥、虫から芽を守るため」といわれています。小鳥の森にあるトチノキの冬芽には、ハエがくっついていました。

## 森の展覧会「第9回 みんなでつくる里山あーと展」

～今年もみなさんのお気に入りの作品をお寄せください。～

作品  
募集

- <テーマ> 仙台市近郊の自然や野生の動植物に関するもの
- <募集期間> 平成23年2月1日(火)～27日(日)
- <募集内容> 写真の部 2Lプリント 5点以内  
絵画の部 10号以下の作品 2点以内  
クラフトの部 2点以内



◎展示期間 平成23年3月9日(水)～3月30日(火)

◎会場 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター研修室

\*詳しくは自然観察センターまでお問い合わせください。



## 2月の催し

### 森の講話会

#### 「マダガスカルの 人と自然について」

～自然保護について考えよう～

**2月26日(土)**  
13:30 ～ 15:00

【講師】田中ちひろ氏(八木山動物園)

【定員】40名(先着)

**申**し込み⇒ 8日9時から電話で

### 「ガイドウォーク」

2月のテーマは『森とけものたち』です  
(毎週日曜日)

**6日, 13日, 20日, 27日**

午前の部 → 10:00～11:30

☆12月～3月は、午後の部はありません。

★申し込み不要です  
自然観察センター前にお集まりください。

### 休館日

7日、14日、21日、28日

### ♪森へおいでください♪



#### 宮城交通バス

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から  
山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り  
公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



#### 車

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



### 定期購読のお知らせ

住所・氏名・電話番号と、何月号から希望かを明記のうえ、80円切手12枚を同封して、自然観察センターまでお申し込みください。

2011年2月号(毎月1回5日発行)

発行：(財)仙台市公園緑地協会

編集：仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

\*仙台市からのお知らせ：「キッズ百年の杜」のURLにガイドウォークの1年のようすが載っています。→ <http://www.kids-100forest.jp/>